

## 第10章 とともに生きる社会かながわ【問31～問38】

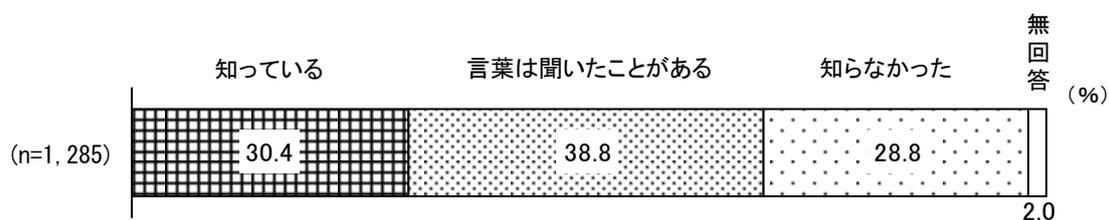
### 1 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度【問31】

#### 【全体の状況】

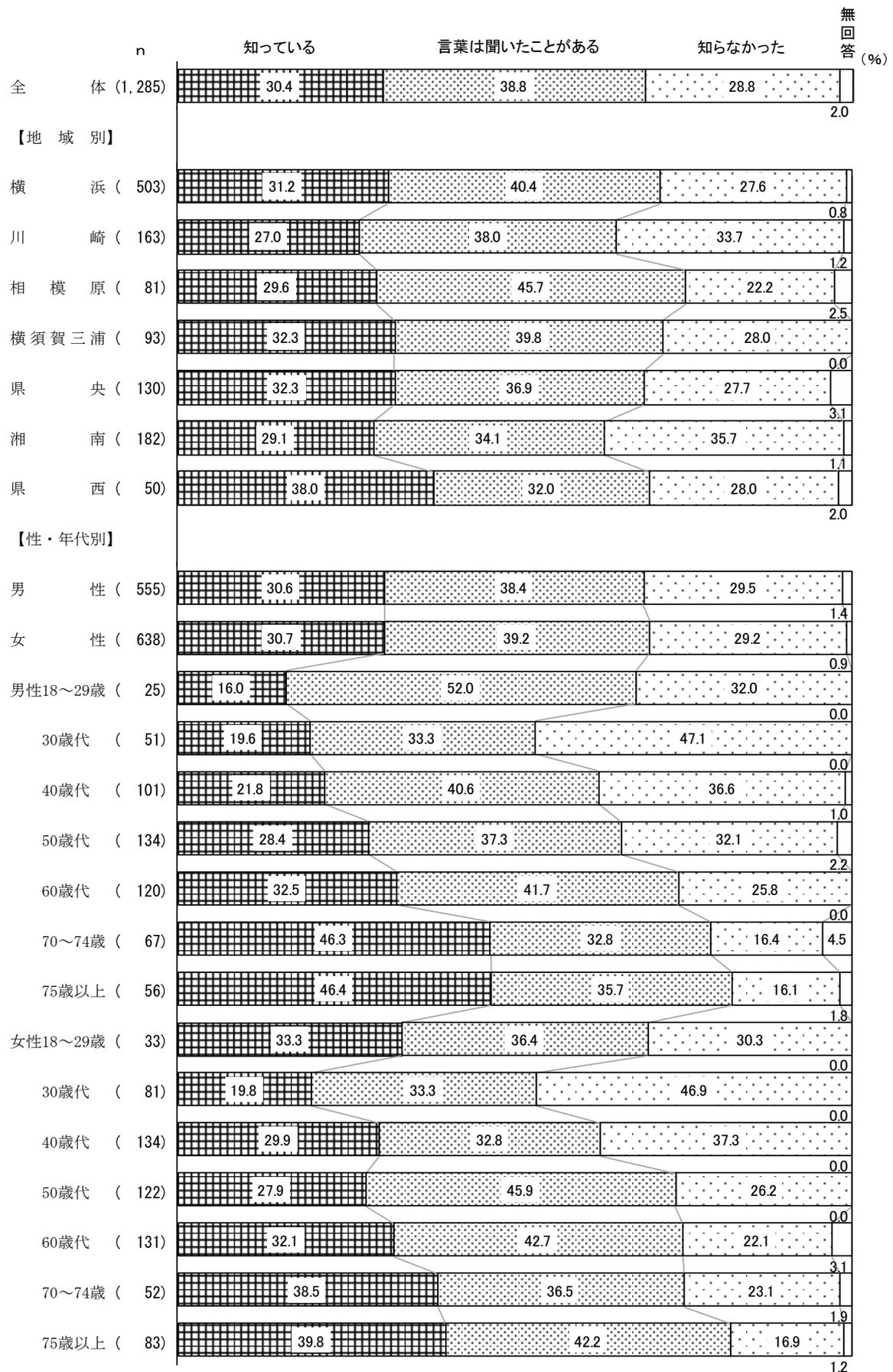
共生社会（ともに生きる社会）という考え方を知っているか尋ねたところ、「知っている」が30.4%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が38.8%であった。

一方、「知らなかった」が28.8%であった。（図表10-1-1）

図表10-1-1 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度



図表10-1-2 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度—地域別、性・年代別



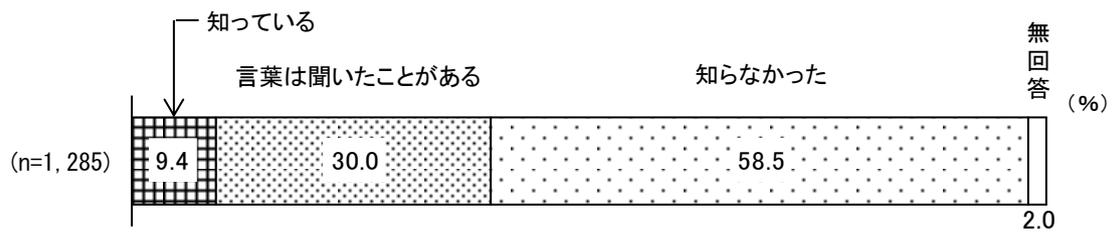
## 2 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度【問32】

### 【全体の状況】

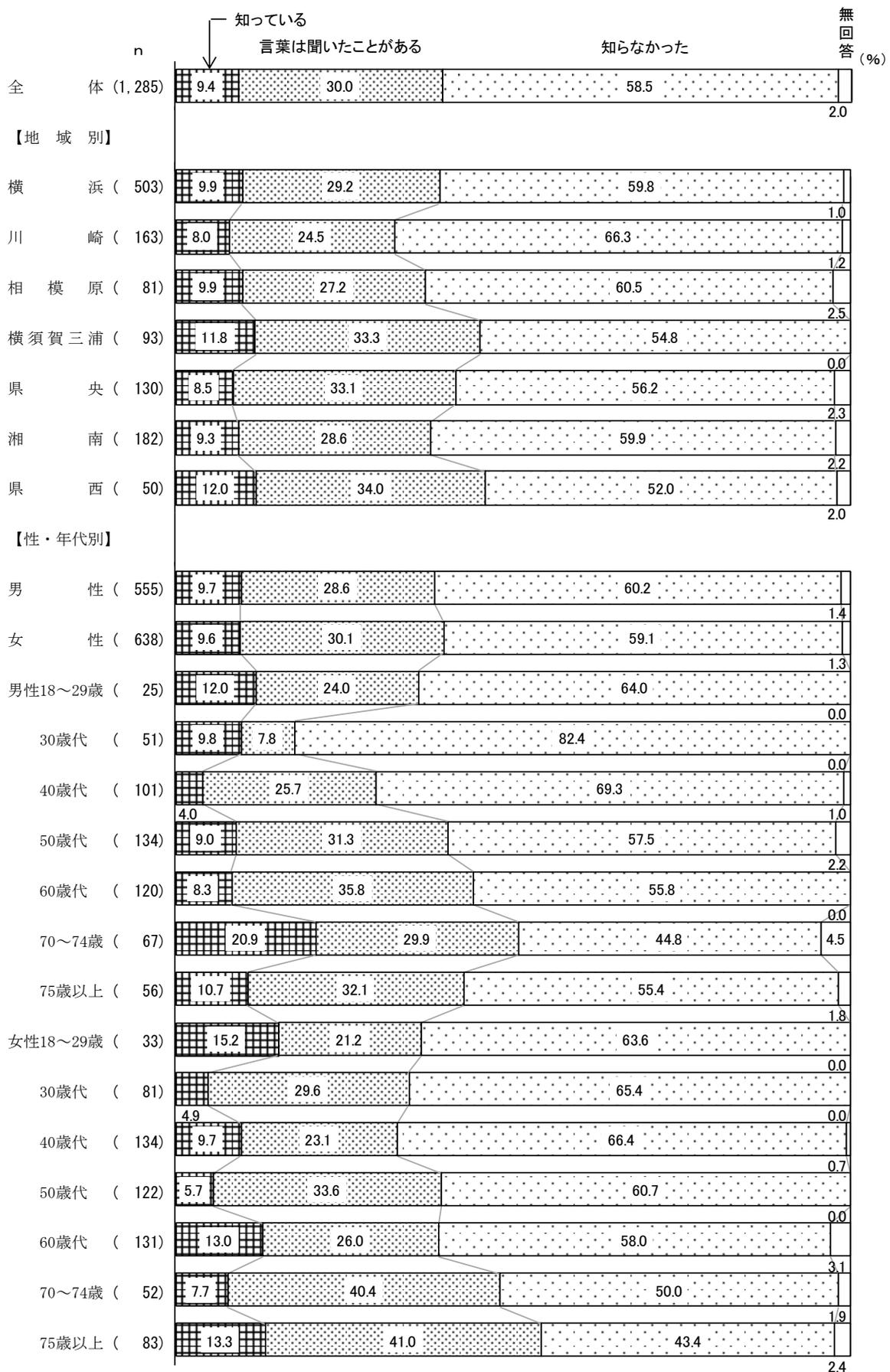
「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が9.4%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が30.0%であった。

一方、「知らなかった」が58.5%であった。(図表10-2-1)

図表10-2-1 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度



図表10-2-2 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度—地域別、性・年代別



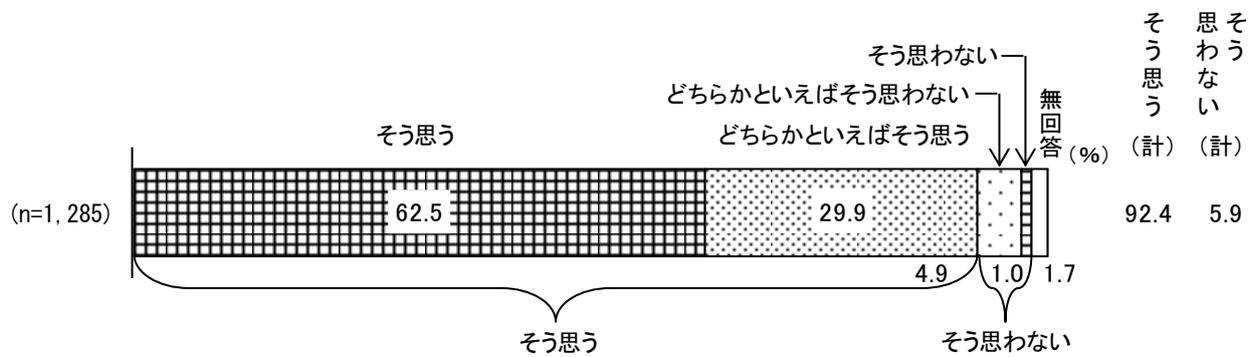
### 3 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方【問33】

#### 【全体の状況】

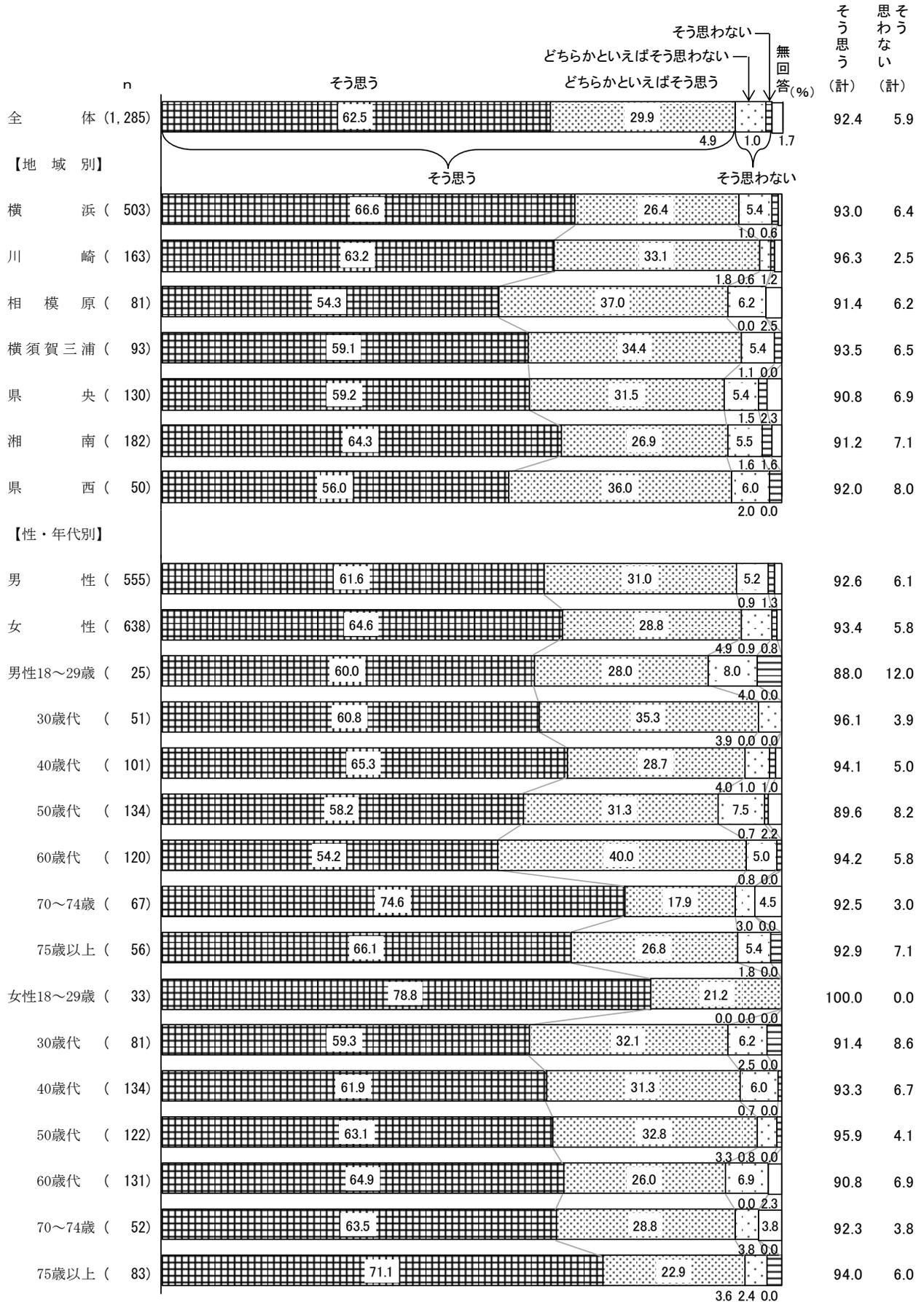
障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方についてどう思うか尋ねたところ、「そう思う」(62.5%)と「どちらかといえばそう思う」(29.9%)を合わせた《そう思う》は92.4%であった。

一方、「そう思わない」(1.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(4.9%)を合わせた《そう思わない》は5.9%であった。(図表 10-3-1)

図表10-3-1 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方



図表10-3-2 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方  
—地域別、性・年代別



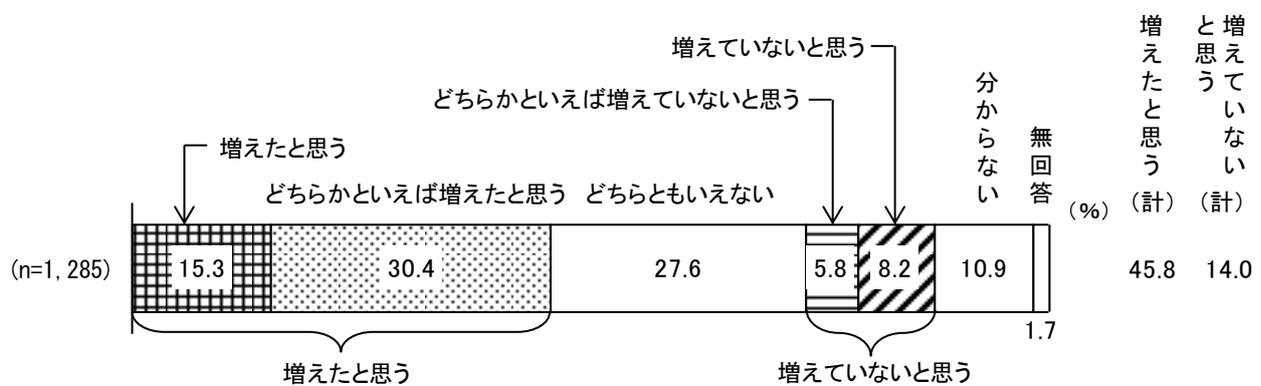
#### 4 障がい者に配慮した行動をとる人【問34】

##### 【全体の状況】

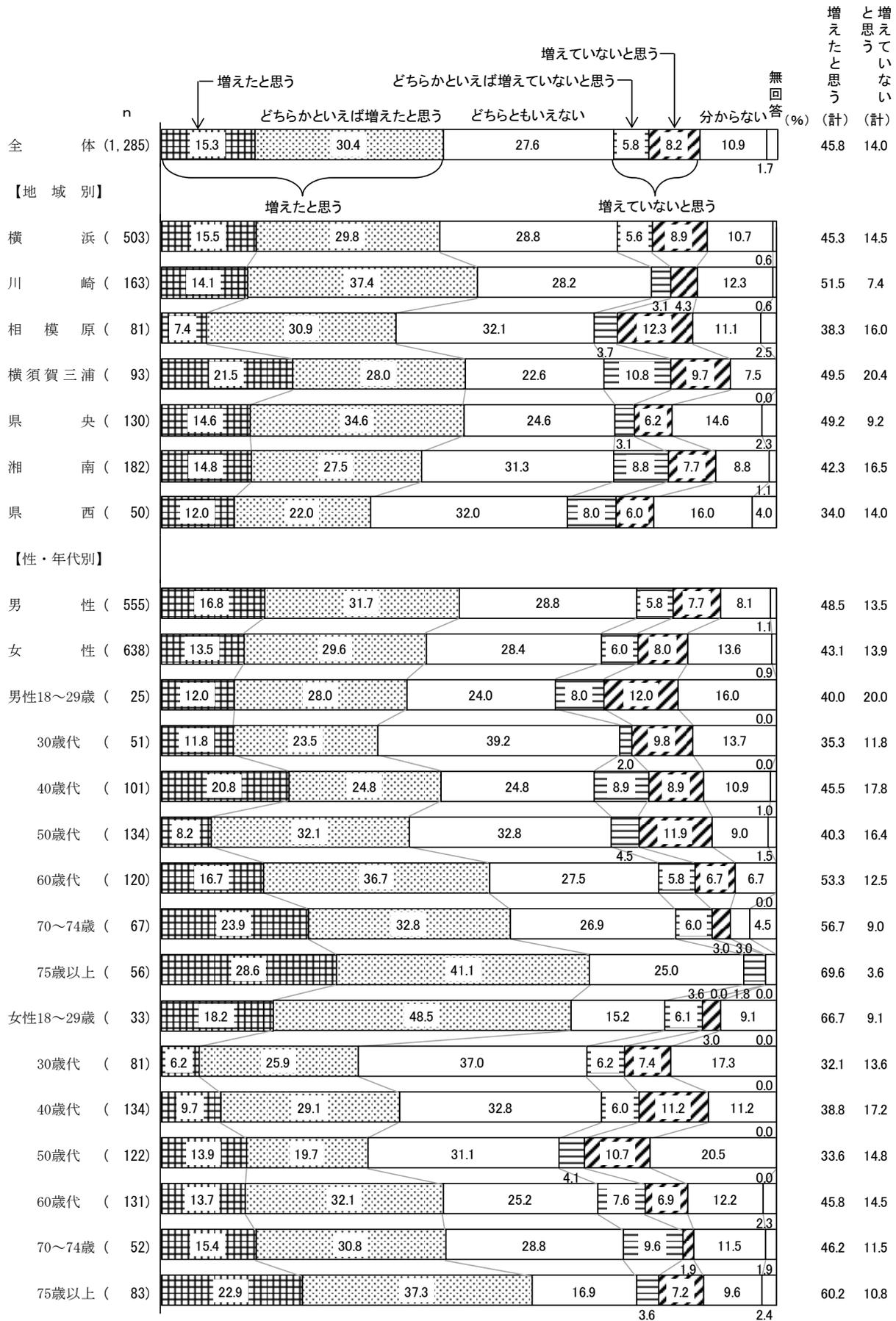
5年前と比べて障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思うか尋ねたところ、「増えたと思う」(15.3%)と「どちらかといえば増えたと思う」(30.4%)を合わせた《増えたと思う》は45.8%であった。

一方、「増えていないと思う」(8.2%)と「どちらかといえば増えていないと思う」(5.8%)を合わせた《増えていないと思う》は14.0%であった。(図表10-4-1)

図表10-4-1 障がい者に配慮した行動をとる人



図表10-4-2 障がい者に配慮した行動をとる人—地域別、性・年代別



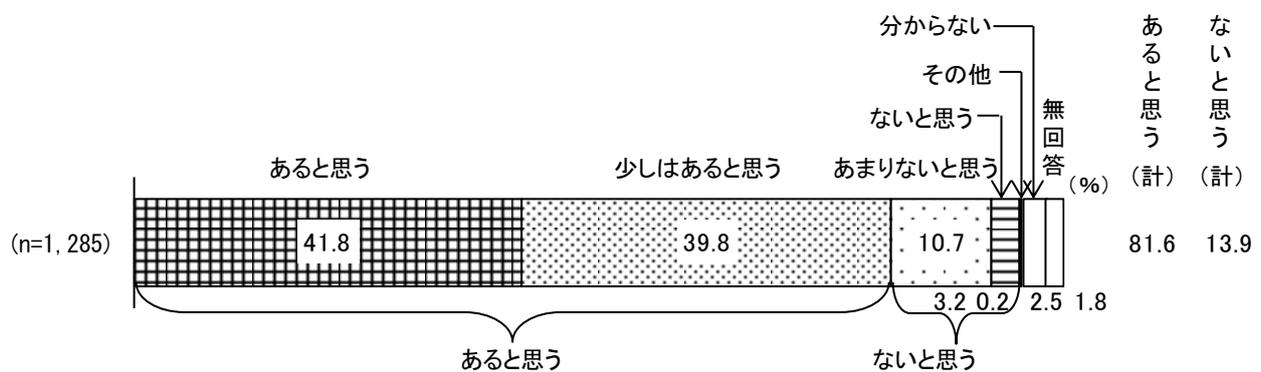
## 5 障がい者への差別・偏見の有無【問35】

### 【全体の状況】

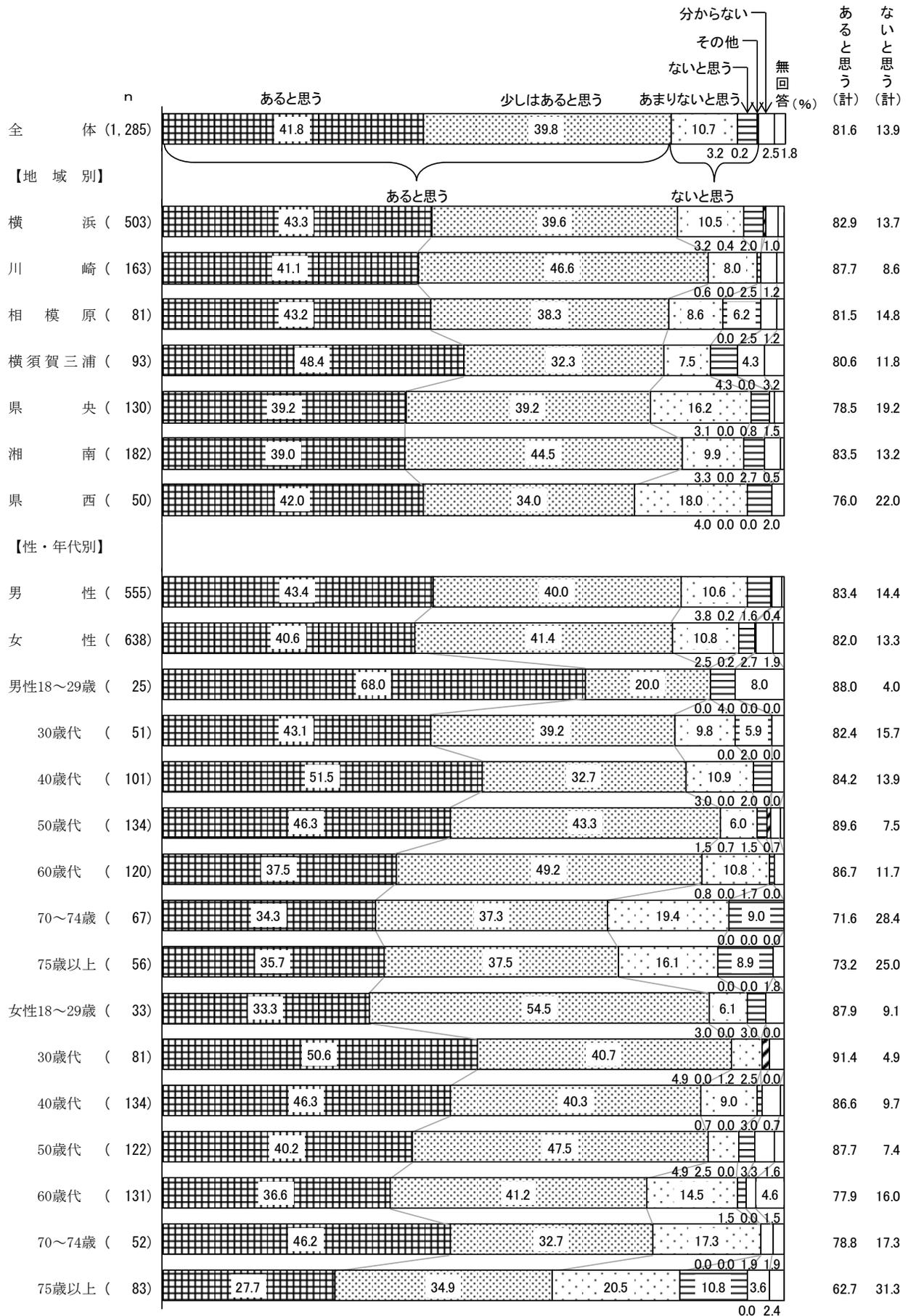
障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思うか尋ねたところ、「あると思う」(41.8%)と「少しはあると思う」(39.8%)を合わせた《あると思う》は81.6%であった。

一方、「ないと思う」(3.2%)と「あまりないと思う」(10.7%)を合わせた《ないと思う》は13.9%であった。(図表10-5-1)

図表10-5-1 障がい者への差別・偏見の有無



図表10-5-2 障がい者への差別・偏見の有無—地域別、性・年代別

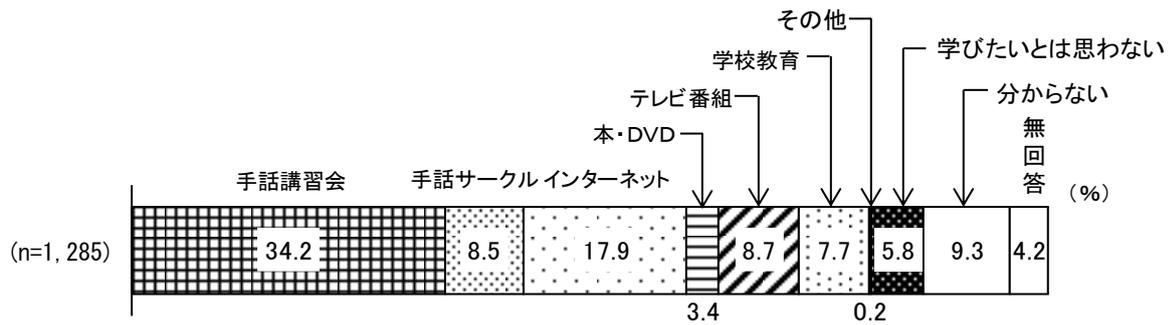


## 6 希望する手話の学習方法【問36】

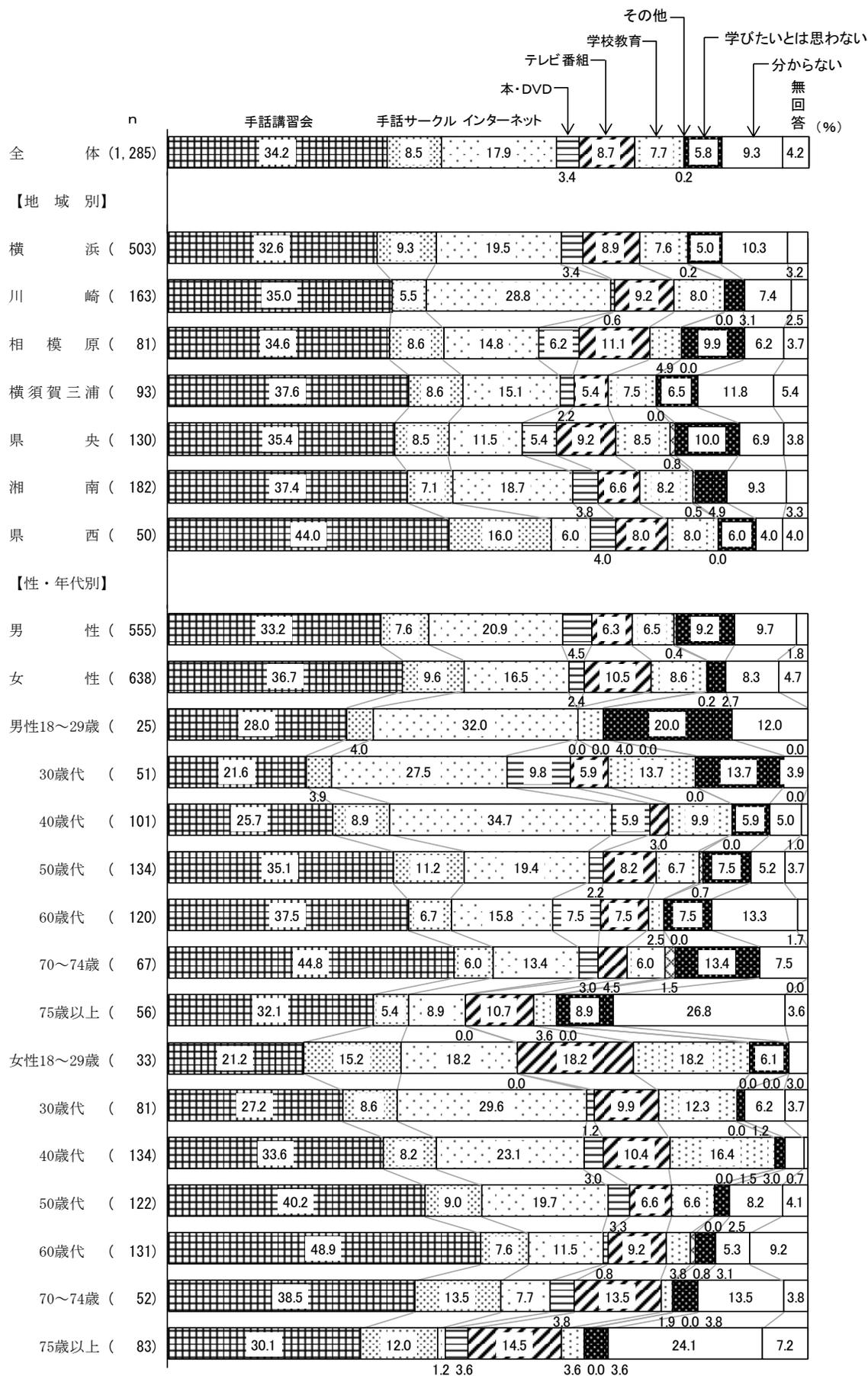
### 【全体の状況】

手話を学ぶ場合、どのような方法で学びたいか尋ねたところ、「手話講習会」が34.2%で最も多く、次いで「インターネット」が17.9%であった。(図表10-6-1)

図表10-6-1 希望する手話の学習方法



図表10-6-2 希望する手話の学習方法—地域別、性・年代別

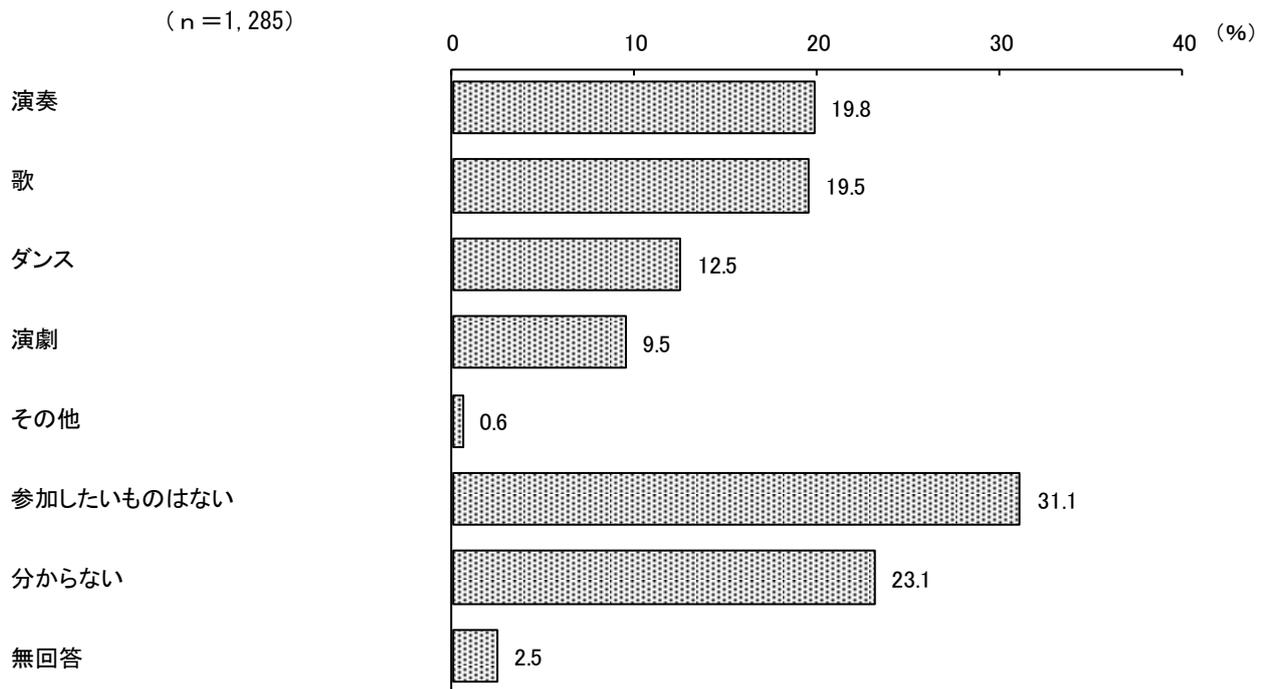


## 7 障がいの程度や状態にかかわらず参加したいと思うワークショップ【問37】

### 【全体の状況】

県で実施している障がいの程度や状態にかかわらず、すべての人が参加できる舞台芸術に関するワークショップのうち参加したいものを複数回答で尋ねたところ、「演奏」が19.8%で最も多く、次いで「歌」が19.5%であった。(図表10-7-1)

図表10-7-1 障がいの程度や状態にかかわらず参加したいと思うワークショップ（複数回答）



図表10-7-2 障がいの程度や状態にかかわらず参加したいと思うワークショップ（複数回答）  
—地域別、性・年代別

		(%)							
	n	演奏	歌	ダンス	演劇	その他	参加したいものはない	分からない	無回答
全体	1,285	19.8	19.5	12.5	9.5	0.6	31.1	23.1	2.5
【地域別】									
横浜	503	19.1	19.9	13.7	9.7	0.8	32.6	20.9	2.0
川崎	163	24.5	17.8	16.6	11.7	1.2	34.4	14.1	2.5
相模原	81	19.8	19.8	8.6	9.9	-	34.6	24.7	2.5
横須賀三浦	93	17.2	20.4	12.9	8.6	-	21.5	29.0	4.3
県央	130	18.5	20.8	5.4	9.2	-	30.0	28.5	0.8
湘南	182	19.2	13.7	14.8	8.8	1.1	33.5	26.4	1.1
県西	50	26.0	24.0	10.0	8.0	-	22.0	30.0	2.0
【性・年代別】									
男性	555	16.9	13.9	8.1	9.7	0.5	38.0	25.0	1.1
女性	638	22.9	23.0	17.1	9.7	0.8	26.0	21.0	2.7
男性18～29歳	25	20.0	16.0	8.0	12.0	-	56.0	4.0	-
30歳代	51	23.5	15.7	9.8	15.7	-	45.1	15.7	-
40歳代	101	13.9	13.9	17.8	12.9	-	36.6	20.8	1.0
50歳代	134	20.9	14.9	7.5	10.4	-	37.3	21.6	0.7
60歳代	120	15.0	8.3	3.3	7.5	0.8	38.3	34.2	-
70～74歳	67	20.9	17.9	4.5	7.5	-	34.3	26.9	3.0
75歳以上	56	5.4	16.1	5.4	3.6	3.6	30.4	37.5	3.6
女性18～29歳	33	30.3	18.2	24.2	6.1	-	30.3	9.1	-
30歳代	81	32.1	16.0	21.0	17.3	-	34.6	13.6	-
40歳代	134	31.3	29.1	25.4	9.7	-	19.4	16.4	-
50歳代	122	18.0	23.8	14.8	7.4	1.6	33.6	18.9	0.8
60歳代	131	23.7	22.9	16.8	10.7	2.3	19.8	24.4	3.8
70～74歳	52	11.5	23.1	5.8	7.7	-	30.8	26.9	5.8
75歳以上	83	10.8	21.7	8.4	7.2	-	20.5	34.9	9.6

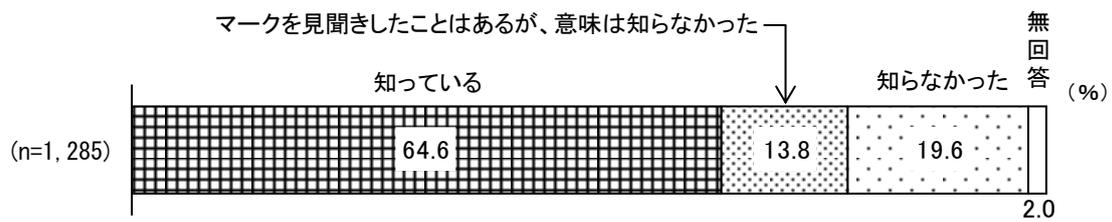
## 8 「ヘルプマーク」の認知度【問38】

### 【全体の状況】

「ヘルプマーク」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が64.6%であった。また、「マークを見聞きしたことはあるが、意味は知らなかった」が13.8%であった。

一方、「知らなかった」が19.6%であった。(図表 10-8-1)

図表10-8-1 「ヘルプマーク」の認知度



図表10-8-2 「ヘルプマーク」の認知度—地域別、性・年代別

